



令和元年版

# 環境白書

山形県



## 「環境白書の刊行にあたって」

本環境白書は、山形県環境基本条例に基づく年次報告書として、平成30年度における本県の環境の状況並びに環境の保全及び創造に関して県が講じた施策の状況などを、「第3次山形県環境計画【中間見直し版】」（平成29年3月策定）に掲げる6つの基本目標と施策の展開方向の項目立てに沿って取りまとめたものです。

平成30年度を振り返りますと、まず再生可能エネルギーの導入促進につきましては、「山形県エネルギー戦略」の開発目標101.5万kWの達成に向け、エネルギーの種別毎の課題に応じた取組みを進めてまいりました。

特に、風力発電の導入促進に向けては、内陸部での風況調査を継続するとともに、庄内沖での洋上風力発電の導入可能性を研究するための産学官金連携による研究・検討組織を立ち上げたほか、地域分散型エネルギーの導入を図るため、ICTを活用し発電・蓄電・消費を最適化するモデル事業を支援し、エネルギーの地産地消を推進したところです。

また、県内の山岳資源と湧水の魅力向上を図るため、「やまがた百名山」写真コンテストや写真展の開催、ポータルサイト「やまがた山」の運営などによる情報発信を行ったほか、「里の名水・やまがた百選」として新たに11か所を選定しました。

さらに、平成30年3月に策定した「やまがた木育推進方針」に沿って、「木育絵本」等を作製したほか、「やまがた木育」講演会等を開催し、やまがた木育の普及を促進いたしました。

このほか、家庭や事業所における省エネ・CO<sub>2</sub>削減行動の啓発、ごみの減量化やリサイクルの推進等による「ごみゼロやまがた」の実現に向けた取組み、県民参加の森づくり活動や鳥獣被害の防止、単独処理浄化槽等から合併処理浄化槽への転換の促進、環境学習機会の充実など、様々な施策を展開してきたところです。

今後は、新たに策定いたしました「第4次山形県総合発展計画」の基本目標である「人と自然がいきいきと調和し、真の豊かさと幸せを実感できる山形」の実現に向けて、「地域の豊かな自然と環境を守る持続可能な地域づくり」を力強く進めてまいります。

本白書を多くの県民の皆様にご覧いただき、環境保全活動や環境教育に取り組まれる際に広く御活用いただければ幸いです。

令和2年3月

山形県知事 吉村 美栄子



# 目次

## 本編

### 第1部 概説

第1章 地球温暖化を防止する低炭素社会の構築	1
1 山形県地球温暖化対策実行計画	1
2 山形県内の温室効果ガスの排出量と削減目標（CO <sub>2</sub> 換算）	2
3 「笑顔で省エネ県民運動」の展開	2
4 「やまがた太陽と森林（もり）の会」と環境価値の「見える化」	3
第2章 再生可能エネルギー等の導入による地域の活性化	4
1 エネルギー政策推進プログラムの中見直しを踏まえた施策展開	4
2 大規模事業の県内展開促進	5
3 地域分散型エネルギーの導入促進	5
第3章 ごみゼロやまがたの実現に向けた循環型社会の構築	6
1 山形県のごみの排出量の状況	6
2 ごみゼロやまがたの推進に向けた取組み	7
3 海岸漂着物等の回収処理及び発生抑制の推進	7
第4章 豊かな環境を守り、活かす自然共生社会の構築	8
1 「やまがた百名山」と山岳資源の魅力向上の取組み	8
2 「里の名水・やまがた百選」の選定	9
3 野生鳥獣管理の推進と計画策定、新規狩猟者の確保・育成支援	10
4 やまがた緑環境税活用事業	10
第5章 安全で良好な生活環境の確保	11
1 山形県的生活環境の状況	11
2 水資源の保全	13
第6章 環境教育を通じた環境の人づくり	14
1 山形県環境教育行動計画	14
2 環境教育の推進	15
3 環境保全活動の顕彰	16

### 第2部 詳説

第1章 地球温暖化を防止する低炭素社会の構築	17
第1節 環境に配慮した行動の提唱・推進	17
1 地球温暖化と温室効果ガス排出量とその削減目標	17
2 持続可能な社会づくりのためのライフスタイルの提唱・推進	19
3 家庭における主体的な取組みの推進	23
4 事業所における自主的な取組みの促進	24
5 自動車の温室効果ガスの排出抑制	25
第2節 先進的な地域システムの構築	25
1 二酸化炭素排出量削減の取組みの「見える化」の推進	25
2 森林吸収源対策の推進	26
3 排出量取引制度（J-クレジット制度等）の活用	27
4 低炭素型の都市・地域づくりの推進	27
5 水素社会の実現に向けた対応	28
第3節 地球温暖化対策の推進体制の強化	28
1 地球温暖化防止を推進する体制の強化	28
2 自治体の率先的な取組みの促進	29

第4節	気候変動による影響への適応	32
1	農林水産分野における適応	32
<b>第2章</b>	<b>再生可能エネルギー等の導入による地域の活性化</b>	<b>33</b>
第1節	大規模事業の県内展開促進	33
第2節	地域分散型の導入促進	36
第3節	産業振興、地域活性化への展開	38
<b>第3章</b>	<b>ごみゼロやまがたの実現に向けた循環型社会の構築</b>	<b>41</b>
第1節	資源循環型社会システムの形成	41
1	本県の廃棄物の排出及び処理状況	41
2	廃棄物の発生抑制及び再使用の優先	44
3	廃棄物の再生利用の促進	45
4	3Rに係る人材育成	48
第2節	資源の循環を担う産業の振興	49
1	循環型産業の育成強化	49
2	循環型産業の市場拡大	51
第3節	廃棄物の適正処理による環境負荷の低減	51
1	廃棄物の適正処理の推進	51
2	廃棄物の不法投棄の防止	53
3	海岸漂着物等の回収処理及び発生抑制の推進	54
4	災害時の廃棄物処理体制の構築	54
<b>第4章</b>	<b>豊かな環境を守り、活かす自然共生社会の構築</b>	<b>55</b>
第1節	自然環境との共生	55
1	自然公園の整備及び活用	55
2	森林が有する公益的な機能の維持及び持続的な発揮	57
3	河川・海岸環境の保全及び活用	58
4	環境の保全に資する産業活動の促進	60
第2節	生物多様性の保全	67
1	希少な野生動植物の保護	69
2	鳥獣の適正な保護及び管理の推進	72
3	鳥獣被害防止対策の推進	74
<b>第5章</b>	<b>安全で良好な生活環境の確保</b>	<b>75</b>
第1節	大気環境の保全	75
1	大気汚染物質対策	75
2	騒音振動防止対策	78
3	悪臭防止対策	81
4	オゾン層の保護、酸性雨対策	81
第2節	水環境・水資源の保全	84
1	水質保全対策	84
2	生活排水対策	88
3	健全な水循環と水資源の適正利用	93
4	水環境の保全活動の推進	97
第3節	土壌環境、地盤環境の保全	97
第4節	化学物質の環境リスクの低減	99
第5節	公害被害等の防止と解決	101
第6節	原子力発電所の事故に伴う放射線対策	104

<b>第6章 環境教育を通じた環境の人づくり</b> .....	<b>109</b>
第1節 環境学習の意欲増進 .....	109
1 人材の育成と活用 .....	109
2 環境学習プログラムの整備・展開 .....	110
3 環境保全活動の顕彰 .....	113
第2節 環境教育の充実 .....	113
1 環境教育の拠点機能の発揮 .....	113
2 環境学習機会の充実 .....	114
3 学校、地域、家庭、職場における環境教育の推進 .....	118
<b>第7章 基本目標の実現に向けた共通の基盤</b> .....	<b>119</b>
第1節 環境情報の収集・提供 .....	119
1 県民のニーズを踏まえた各種媒体での広報の推進 .....	119
2 幅広い視点から環境情報を体系的に収集・整理し、 一元的にわかりやすく提供 .....	119
3 環境汚染やクマ等野生生物による被害など緊急時の 対応を含め迅速に情報提供 .....	120
第2節 パートナシップ活動の充実 .....	120
1 パートナシップによる取組みの促進 .....	120
第3節 環境配慮の実践 .....	121
1 環境影響評価制度の運用 .....	121
2 環境配慮の普及促進 .....	121
第4節 経済的手法の活用 .....	121
1 産業廃棄物税を活用し、3R推進等に向けた誘導的 施策を積極的に展開 .....	122
2 ごみ処理の有料化の導入 .....	123
3 やまがた緑環境税等による森づくりの推進 .....	124
4 やまがた社会貢献基金による支援 .....	125
第5節 環境科学研究の充実 .....	125
1 山形県環境科学研究センターの基本方針 .....	125
2 県環境科学研究センターの取組み .....	125
3 国際協力の推進 .....	126